

## 「勝ち負けのある運動①」

### 【ねらい】

- 「遊びの達人になろう」で学習したポイントを意識して勝ち負けのある運動に取り組む。  
(ルールを守る、勝ってもいばらない、負けても怒らない、最後まで続ける、仲間を応援する、ルールにこだわり過ぎない、気持ちの切り替えをする など)
- 気持ちのコントロール方法を知り、試すことができる。  
※児童の実態に即したねらいを設定して、指導を行います。

### 【学習の流れ】

1. 活動内容の確認をする。

2. 気持ちのコントロール方法を知る。

- ・深呼吸する。 ・話を聞いてもらう。 ・水を飲む ・顔を洗う
- ・少しの間、その場から離れる ・好きなことをする(休み時間や家) など

3. 本時のめあてを決める。

前時の「遊びの達人になろう」で学習したポイントの中から本時のめあてを決める。  
どのようにしたらめあてを達成できるか、具体的な方法を担当教員と話し合う。

4. 勝ち負けのある運動をする。

- ・ドッジビー的当て ・玉入れ ・リレー系 ・フラフープ渡り ・ろくむし
- ・おにごっこ系 ・ボール投げ ・ボーリング ・しっぽとり など

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、内容を変更して行うこともあります。

5. 振り返りをする。

①自分のめあてについて振り返りを行う。

②今日学んだことを、クラスでどのように活かせるかを発表する。

### 担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団学習では、「勝ち負けのある運動」を行いました。先週の「遊びの達人になろう」で学んだことを生かせるようにこのテーマで学習を行いました。在籍学級での体育や休み時間に友達と遊んだときなど、勝ち負けを受け入れることができたり、ルールにこだわり過ぎずに参加したり、自分も友達も楽しく運動することを目標として。

運動に入る前に、負けてしまったりうまくいかなかったりしたときの気持ちのコントロール方法について指導しました。気持ちのコントロール方法については、繰り返し指導を行い、様々な場面で生かせるようにしていきます。